

2016 年 9 月 14 日

WG⑥メンバー

	住商セメント（株）	常勤監査役	上野正人
	（一社）日本貨物検数協会	監事	岸俊雅
リーダー	王子タック（株）	常勤監査役	荒木道雄
コーディネーター	元）日本鑄造（株）	常勤監査役	北條幸一

（研究テーマ）「新任監査役が手始めにやるべきこととは」

【発表事項】	【資料】	【発表者】
1. はじめに	資料①	荒木
2. アンケート調査と結果	資料②	岸
3. 面談調査と結果	資料③	上野
4. あとがき（活動を終えて）	資料④	岸、上野、荒木

1. はじめに

監査役は就任早々、取締役の職務執行が善管注意義務に基づいて適正に行われているかの監査（監視）義務を負いますが、「監査役としての心構え」はどのようにあるべきかという精神論的な提言書、また、「まず手始めに何から手を付ければ良いのか（計画書・監査役基準・法令・過去歴調査等々）」という新任監査役への実務的な観点からの提言書のようなものを先輩監査役として模索することを当WGの研究テーマと設定しました。

研究活動としては、6月に当会の会員・会友 72 名にアンケート（監査役の心構え、手始めに着手する実務内容、苦勞されたこと、参考文献等）を実施して 28 名からのご回答を頂戴いたしました。また、7月～8月にかけて経験年数・職歴・業種の異なる 7 名の監査役および監査等委員との面談調査を実施いたしました。

以下に本研究結果を纏めましたので報告いたします。